

第4次姫路市市民活動・協働推進事業計画についての考え方

持続性と変革に対応した計画

第3次姫路市市民活動・協働推進事業計画までに取り組みられている市民活動・協働の成熟化を図り持続可能なものとしつつ、新たな時代に応じた活動を推進する。

条例、総合計画との連動性

「姫路市まちづくりと自治の条例」・・・市民一人一人がまちづくりの担い手に
「姫路市総合計画（策定中）」・・・多様な主体が輝くまち（市民活動分野の目標）

現下の社会状況を把握した上で策定

地域活動、ボランティア団体の状況等・・・資料1

市民意識調査・・・第1回懇話会報告

国内外の動向等を反映

- ・災害時における地域活動・ボランティアの重要性
- ・持続可能な開発目標「SDGs（エス・ディー・ジーズ）」
- ・ICT等の最新技術の活用
- ・新型コロナウイルス感染症の影響等（→新しい生活様式へ）

事業項目について

- ・事業項目を整理し分かりやすく。
- ・持続可能な地域コミュニティ活動、多種多様な活動を反映したものに。
- ・市民意識調査や第1回懇話会の意見も参考に重点項目を設定。

進捗管理

- ・現行の進捗管理に加え、市民意識調査、職員意識調査の項目を参考指標とする。

指標(案)

内容	対象 指針	指標	現状値 (令和2年)	
市民意識 調査	3, 4	地域団体の活動への参加割合	43.5%	
	3, 4	ボランティア活動やNPO活動への参加割合	23.3%	
	2	市民参加のための取組み認知度	情報公開制度	26.7%
	1, 6, 7		市政出前講座	19.9%
	2		パブリックコメント	11.4%
職員意識 調査	1, 5, 7	市民活動との協働状況が進んでいると思う割合	31.6%	
	1, 5, 7	協働を進めることが必要だと思う割合	82.6%	
	1, 7	自治会以外の地域活動団体の活動への参加割合	48.7%	
	1, 7	ボランティア活動への参加割合	21.2%	